

知事と区市町村長との意見交換会(利島村)

令和2年10月6日(火)

13時50分～14時10分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いいたします。

○**知事** 前田村長、お元気でいらっしゃいますか。今日はよろしくお願いたします。

新型コロナウイルスという見えざる敵に対して、日々最前線で、村民に寄り添った様々な対策を取られておられるかと存じます。本当に御苦労様でございます。

とは言え、コロナとの厳しい戦いはまだまだ続いておりまして、感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図るといふ、ウィズコロナの社会をいかにして生きていくかっていうことが問われているわけでありまして。

この難局に立ち向かっていくということで、東京都でもウィズコロナ時代ということもあり、都政の構造改革を現在強力に推し進めていく。そしてこの構造改革を梃子にして、新しい日常やサステナブル・リカバリーという新たな視点でもって、長期戦略の策定を行っているところであります。

そこで、コロナを乗り越えて未来の東京を切り開くためにも、都と島、区市町村が連携していく。またオール東京で向かっていくということが必要であり、今日はそういう意味でも、現場の皆様方からの現状の御報告や御要望を伺うということでもあります。利島の御意見、御要望を、直接お伺いできる機会でございますので、限られた時間ではございますけれども、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

○**行政部長** それでは前田村長、御発言をお願いいたします。

○**利島村長** それでは皆さん、こんにちは。利島村村長の前田でございます。まずは小池知事におかれましては、二期目の当選おめでとうでございます。これからも変わらず、よろしくお願申し上げます。

さて、私達の利島村は人口約300人が生活する、東京都で最少面積の自治体ですが、全住民が一緒になって、島での安定した生活の確立を目指して、村づくりを進めているところであります。

そのために小池知事をはじめ、総務局、行政部及び多くの局の皆さんの御指導、御支援をいただいております。近々でございますけれども、東京都政策連携団体であります、東京都都市づくり公社の御支援を得て、インフラ整備を現在進めつつあるところであります。これら多くの関係各局の皆さんには、村民とともに心より御礼申し上げます。

それでは意見、要望等について述べさせていただきます。本日の意見交換としては、要望として3件を述べさせていただきます。第1はコロナ対策、第2は港湾整備、第3は道路整備であります。

まず第1は参考資料1/3に示しますように、コロナ対策として水際対策の維持と保健所の協力に関する要望であります。参考資料の1/3を御覧いただければと思います。

利島村においてはお陰様で感染者は発生しておりませんが、現在、村独自の対策も含め、資料に示しますように1から6の施策を実施、または計画中であります。光通信網の整備によりGIGAスクール、また電子カルテ化の推進等も進める計画であります。また、万が一感染者が発生した場合の人権の擁護の観点から、誹謗中傷の防止への呼び掛け、感染者への特別支援等も計画中であります。

一方で、コロナ禍で特に利島村単独の施策としては実施困難であり、関係機関との連携が必要な対策として、まず水際対策の維持、継続を、次に感染者発生時における保健所の指導的な関与と協力を、引き続き要望させていただきます。

次に第2は参考資料2/3に示しますように、港湾施設の早期整備に関する2件の要望であります。参考資料2/3を御覧いただければと思います。

利島港は定期船の接岸できる岸壁が風向きによって選択できるように、東西2本の岸壁と防波堤で構成されております。ここで要望の一つは、岸壁西の整備であります。この岸壁西は、現在までに台風の波浪により既に3度、図に示しますように真ん中の写真がございすけども、損壊、補修を繰り返し、10年以上に渡って定期船の接岸ができない状況が続いています。それによる定期航路の就航率の低下は農業、水産業及び観光の振興に対して、大きなダメージとなっています。そのため、台風の波浪等では損壊しない、岸壁西の早急な整備を要望いたします。

もう一方の要望は、東防波堤における越波防止対策であります。参考図2/3に示しますように、東防波堤は泊地、これは漁船等の係留地でございすけども、泊地等の静穏度を保つために整備されています。しかし、現状では台風等の巨大波浪が東防波堤を乗り越えて、すなわち越波して泊地を直撃し、漁船の転覆や漁協施設の損壊等が発生しております。泊地等の静穏度の維持、または向上のため、東防波堤に対する巨大波浪の越波防止対策の早期実施を要望いたします。

次に第3の要望は参考図3/3に示しますように、都道へりポート線の整備の加速のお願いであります。参考図3/3を御覧いただければと思います。

利島村においては利島港につながる利島一周道路、これを都道の228号線と呼んでおりますが、一周道路が東回りの1路線のみで、全線開通が中断している状況にあります。利島港につながる東回り都道は、もし崖崩れ等で通行不能の場合の他のアクセス手段として、また大型車の通行は可能になる等の防災や利便性向上のため、中断中の西回り都道、参考図3/3の赤い点線の部分でございすけども、西回り都道を整備し、利島一周道路の早期全線開通を要望いたします。以上でございます。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 幾つかの御要望等も含めて、現状をお知らせいただきました。

まずコロナであります、コロナの侵入を防ぐための水際対策というのは、極めて重要

であります。利島村もそうですし、考えてみれば日本という島国そのものが、これからのビジネス等の往来が増えていくということは、結局、出入りする人の単位が違うとはいえ、同じような課題を抱えているということです。今後とも都として島しょ地域の安心、安全をしっかりと守るため、引き続き運行事業者等と連携をしながら、島での感染拡大の防止に努めて参ります。

また、本土との交通手段が限られていることや、医療機関も少ないと。利島村の村民の方々は今 322 名ですね。そして医療機関も少ないという地域特有の事情もありますので、入院が必要な患者さんは迅速に本土の医療機関に航空搬送をしているところですが、幸い利島村はこれまで陽性の方は出ていないということでもあります。引き続き、危機管理という観点からも関係機関と調整を行って、患者搬送の体制を確保して参ります。

それから感染が疑われるような患者さんが発生した場合等も、お話がありましたように、水際対策の維持、継続。それから感染者発生時に保健所の指導的関与、協力をといることがあり、また、村では隔離施設設置を検討中ということですがけれども、都は感染が疑われる患者さんが発生した場合のための一時滞在施設の確保の際の町村の取組、財政的に支援をすることといたしております。

更に感染拡大等の状況に応じましては、医師や保健師さんの都からの応援職員の派遣であるとか、村への保健所職員の派遣で、島しょ地域におけます保健所の体制強化を図るといふことと、先ほど申し上げました、一時滞在施設の取組の技術的な支援ということを行って参ります。

島しょ地域というのは本当に水際対策をいかに確実に進めるかということで、まずそこで一旦、まさしく防波堤と、そしてその次のもし起こった際の対策ということを、皆さんとしっかりと連携を取りながら進めていきたいと思っております。

それからヘリポート線についてのお話がありました。こちらは島民の生活、それから産業活動を支える樁の方は被害が今は出てないでしょうか。後でお知らせください。

災害の時は物資輸送の代替路であったり、避難経路ともなる重要な施設でございますので、現在事業の方は休止となっておりますが、村長もまた村の方も御尽力されて、昨年度から測量に着手はできたというふうに聞いております。よって、都として引き続き事業再開に向けて村の協力を得ながら道路の整備推進をしていくという考えであります。

そして副知事の方から加えて発言があります。

○副知事 それでは港湾整備につきましては、私の方からお答えをさせていただきたいと思っております。

利島におかれましては航路は生命線でございます、港の整備が重要であることは、もう論を待たないことと認識をしております。利島港は一港二突堤方式ということで、西側岸壁、東側岸壁ということで整備をしておりますけれども、まず台風災害の西側岸壁でございますけれども、近年台風の大型化に伴って、三度に渡って大きな被災をしたところでございますけれども、現在、西側岸壁は暫定的に使用できる状況まで、復旧工事が御存じのとおり今進んでおります。来年度本格復旧に向けまして、本格復帰は来年度完了の予定で

進めているところでございます。

また、もう一方の東側岸壁と言いましょか、東側の防波堤の越波のことでございませけれども、やはり台風の大型化に伴いまして、今の施設で安全性を完全に確保することがなかなか難しいということもございませるので、今後も防波堤の安全性の確保に努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○行政部長 それでは今の発言を受けまして、村長の方からいかがでしょうか？

○利島村長 いろいろな知事、副知事から力強い応援いただきまして、ありがとうございます。是非港湾とか都道についても、これからいろいろ御支援、御指導いただければと思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

○行政部長 椿の方はいかがでしょうか。

○利島村長 椿は今のところ病虫害等は発生しておりませせん。今年は花の実のなり具合が非常によくて、今年の収穫は来年度になりますけれども、非常に皆さん期待しているところでございませ。いろいろ援助をいただきまして、病虫害もここ3、4年ですかね、防げておりまして、ようやく回復してきている基調にございませ。

それから椿油精油工場等についてもいろいろ御支援いただきまして、椿油の品質を向上して、できるだけ高い値段で売れるような状況に向かいつつあります。いろいろ協力ありがとうございます。今後もよろしくお願ひいたします。

○行政部長 どうもありがとうございます。それでは最後に知事からお願ひいたします。

○知事 前田村長、ありがとうございます。椿油も順調だということで、これからも益々農業の点でも、また産業としてしっかり進めていただければと思います。

また、特に村長、技術畑の御出身でありますし、これからのデジタルトランスフォーメーションという意味では、利島も光ファイバー等を確実にすることによって、島の魅力が更に増すことも出来るかと思ひます。まさにウィズコロナということで、島の魅力の発信、そしてまた島へ、いろんな若い人達も迎え入れられるような、そういったこともこれからも進めていきたいと思ひます。

御意見、御要望を踏まえまして、未来の東京を切り拓く羅針盤となる長期戦略の策定や、また来年度予算の編成に当たっての施策、そして事業の検討に取り組んでいきたいと思ひます。これからも皆さんとともに手を携えながら、今はコロナの問題はこれもう世界的に見ても本当にこんな状況が来るのかと思うほど、驚くような状況がまだまだ続いております。国難とも言える危機でありますか、これを乗り越えて東京の持続的な発展に繋げていきたいと思っておりますので、またともに頑張つて参りましょ。村の皆さんにどうぞよろしくお伝えください。ありがとうございます。御苦労さませ。

○行政部長 それでは以上で意見交換を終了いたします。本日は御多用のところ、どうもありがとうございます。